

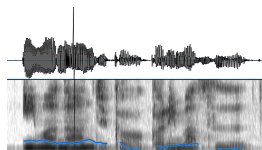


BUT の（真理条件的）意味

P	Q	P And Q	P But Q
1	1	1	1
1	0	0	0
0	1	0	0
0	0	0	0

言語学のトピック I

音声学



音韻論

ima nanji ka wakarimasu

意味論

「今何時か分かります？」

統語論

語用論

✕はい。分かります。さようなら
「あ、2時5分です」

おしながき

- 語用論とは
- 協調の原理
- 会話における丁寧さとは

語用論とは

- 前は、まるで文の意味は（文脈、場面とは独立に）論理的に決まるかのように話をした
- 実際には、文の意味は「誰が、いつ、どこで」話しているかによる
- 発話には（ほぼ必ず）**文脈** (context) がある
- 発話は（真偽だけでなく）その場面で**適切**かどうかも大事
- さらに、言語はただ事実を述べるためのものではない。人は言語を通じて依頼、約束などの**発話行為** (speech act) をする

協調の原理

- A: じゃあ映画かなんか行かない？
- B: あーでも明日テストあるし
- この会話はなぜ成立するのか？

協調の原理 (P. GRICE)

- 人は、協調的な会話をしているとき、ある種の原則に従っている。

協調の原理

量の公準：必要なぶんだけ言え。

質の公準：本当でないことを言うな。根拠のないことを言うな。

関連性の公準：関係のあることを言え。

様式の公準：分かりやすく言え。順序立てて言え。

協調の原理

- この原理は、「これらのルールに人は常に従っている」という意味ではない
 - 嘘をつけば**質の公準**違反になる
 - 2,000円ずつ集めているときに、2,000円持っているのに「1,000円は持っています」と言ったら、嘘ではないかもしれないが**量の公準**違反になる
- そうではなく、これらの原則に従う（そして、相手も従っていると想定する）ことで、協調的な会話が可能になるということ

協調の原理

- 言い切ってしまうと原理に従えるかどうか分からない時は
 - 知ってるかもしれないけど（量の公準違反を回避）
 - たぶん／～かもしれない（質の公準違反を回避）
 - とこ／話は違うんだけど（関連性の公準違反を回避）
 - うまく言えないけど（様式の公準違反を回避）

協調の原理

- 相手の言ったことが一見、協調の原理に反しているように見える場合どうするか？
 - 相手が協調的でない考える
 - じつは協調的であると考えて好意的に解釈する
- さらに話し手側も、相手が好意的に解釈してくれることを期待して間接的な言い方ができる

協調の原理

- A: じゃあ映画かなんか行かない？
- B: あーでも明日テストあるし
- Bが突然テストの話をはじめたのは一見、**関連性の公準**違反
- Aは、Bが協調的なら、テストがあるかどうかと映画に行くかどうかには関連があると推測する

皮肉

- (明らかにものすごく散らかった汚い部屋に足を踏み入れて) へー、きれいな部屋ですね
- 文字通り取れば**質の公準**違反であることが明らかなので、話し手が協調的であれば、文字通りの意味とは違うことを伝えようとしていると推測できる

トートロジー

- イチローはイチローだ。
- 文字通り取れば**量の公準**違反 (情報量ゼロ) であることが明らかなので、話し手が協調的であれば、文字通りの意味とは違うことを伝えようとしていると推測できる

ポライトネス (丁寧さ)

ポライトネス

- 「丁寧な表現」はなぜ存在するのだろうか？
 - **考え方1**：社会的規範。敬語ができれば、自分がその社会のきちんとした一員であることや、自分の身分や他人との関係を適切に理解していることを示せる。
 - **考え方2**：他者への配慮のテクニック。例えば、命令するのではなく、相手に選択の余地を残すことで丁寧な言い方となる。

ポライトネス理論 (BROWN AND LEVINSON)

- 考え方2「他者への配慮戦略としての丁寧表現」にフォーカスした理論

ポライトネス理論

- コミュニケーションにおいて、人は次の2種類の願望を持っている
 - **積極的フェイス**：他人に認められたい、共感されたいという願望
 - **消極的フェイス**：他人に邪魔されたくないという願望
- コミュニケーションにおいて、人は他人のフェイスを侵害するリスクを抱えている（例えば、「手伝って欲しい」と言うと、相手の消極的フェイスを侵害するリスクがある）

ポライトネス理論

- フェイス侵害のリスクの大きさは、次の3つのファクターで決まる
 - 相手との力関係
 - 相手との距離
 - 内容の重さ

コメントシートに書いてください

- 次の4つの状況で、あなたならどう言いますか？
 - 友達からペンを借りたい。
 - 教授からペンを借りたい。 **(力関係)**
 - 隣に座っている学生からペンを借りたいが、その人とは話したことがない。 **(距離)**
 - 友達から一万円借りたい。 **(内容の重さ)**

フェイス侵害リスクと戦略

- そのまま言う（丁寧さへの配慮なし） **リスク小**
- 丁寧さに言う
 - 積極的ポライトネス戦略
 - 消極的ポライトネス戦略
- 間接的ほのめかし
- あきらめる **リスク大**

そのまま言う（丁寧さへの配慮なし）

- じゃあ、これもらう。
- 先に宿題やれ。

積極的ポライトネス戦略

- 相手の「積極的フェイス」（認められたい、共感されたい）を満たすように話す

積極的ポライトネス戦略

- 相手に興味を示す（「おなかすいたでしょう」「髪切ったんだー」）
- 相手の話に共感したり、同意したりする（「ひどーい。ありえない」）
- 相手をニックネームで呼ぶなど、仲間であることのサインを使う
- 提案や約束をする（「今度おごるよ！」）
- 事情などを話して共有する（「実は財布なくしちゃって…」）

積極的ポライトネス戦略

- 「高校のときテニス部だったんだよね」
- 「あ、うん。中学のときだけど」

消極的ポライトネス戦略

- 相手の「消極的フェイス」（邪魔されたくない）を満たすように話す

消極的ポライトネス戦略

- 間接的に言う（「～と助かるんですが」）
- 相手への負担の度合いを下げる（「すぐ返すんで」「ちょっとだけ」）
- 悲観する（「今日はちょっと厳しいですかね」）
- 謝罪の言葉など（「申し訳ありません」「ご多忙中恐れ入ります」）
- 一般的に述べる（「こちらのサービスは事前にご予約いただくことになっておりまして」）

日本語の「敬語」は
ポライトネス理論で説明できるか？

- 相手との距離、上下関係に応じて敬語を使わなければいけないという点では同じ
- しかし、相手ごとに敬語を使うかタメ口を使うかは決まっており、コミュニケーションの内容ごとに戦略として使い分けるとい側面は小さい

日本語	タメ口	敬語
韓国語	반말 (パンマル)	존댓말 (チョンデンマル)

T/V 代名詞

	T (親称)	V (敬称)
フランス語	<i>tu</i>	<i>vous</i>
ドイツ語	<i>du</i>	<i>Sie</i>
スペイン語	<i>tú</i>	<i>usted</i>
中国語	你 (<i>nǐ</i>)	您 (<i>nín</i>)
英語	(<i>thou</i>)	<i>you</i>

- 日本語：ウチソト相対敬語
- 韓国語：絶対敬語（上下相対敬語）

コメントシート

- 先ほどの「ペンを借りる」例で、どんなポライトネス戦略を使いましたか？